

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	小瀬スポーツ公園	所管課	都市計画課
所在地	甲府市小瀬町840	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年
管理方式	指定管理者((財)山梨県体育協会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	①以下にあげる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること ②スポーツの場を提供すること ③主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	第1種公認陸上競技場、第3種公認陸上(補助)競技場、球技場、アイスアリーナ、体育館、野球場、公認水泳場、庭球場、武道館、弓道場、相撲場、クライミング場、クラフトタワー、芝生広場、緑地、園路広場、駐車場		
主な業務内容	① 施設・備品の管理運営業務 ② スポーツ振興業務 ③ 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 ④ 県が実施する大会等への協力		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	緑が丘スポーツ公園
-------------------	-----------

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	1,683,891	1,774,036	1,793,431	
	有料施設利用者数 (観客数を含む)	576,209 (1,038,936)	610,100 (1,109,341)	604,019 (1,028,238)	
	利用者数合計	1,683,891	1,774,036	1,793,431	
	目標値	1,465,000	1,555,000	1,775,000	1,794,000
	目標値設定の考え方	H19は、関東陸上競技会(5日間)やJ1リーグであったが、H20は開催されず、J2降格等があり、観客等の減少が見込まれる。	H21は、体育館の空調工事があり利用者の減少が見込まれる。	昨年度の実績値を達成の目標とする。	昨年度の実績値を達成の目標とする。
	対20年度比	100.0%	105.4%	106.5%	106.5%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	128,423,000	110,653,000	118,246,000	119,856,000
	指定管理者委託料	443,562,000	420,275,000	420,275,000	426,789,000
	その他	11,396,000	9,672,000	10,933,000	9,702,000
	収入合計(A)	583,381,000	540,600,000	549,454,000	556,347,000
支出	人件費	198,006,000	187,753,000	179,606,000	177,104,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	361,611,000	352,847,000	361,792,000	379,243,000
	(うち外部委託費)(B)	154,808,000	167,055,000	160,854,000	166,484,000
	支出合計(C)	559,617,000	540,600,000	541,398,000	556,347,000
収支差額(A-C)		23,764,000	0	8,056,000	0
外部委託比率(B÷C)		27.7%	30.9%	29.7%	29.9%
利用者一人当りの経費		250	237	234	238

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。
 ※利用者1人当りの経費の算定式は、直営(HO~O年):(支出-収入)÷利用者数、指定管理者(HO~):指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年4月~23年3月、実施方法:公園利用者へのアンケート、回答数:1775人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満
①良好な緑地環境の提供	73.2%	22.5%	1.2%	3.1%
②遊び、憩いの場の提供	60.7%	25.6%	2.0%	11.7%
③スポーツの場の提供	63.7%	26.1%	2.7%	7.5%
④イベント・教室	87.8%	11.1%	0.3%	0.8%
⑤広報、接客等	63.7%	26.1%	2.7%	7.5%
⑥自主事業	83.9%	14.3%	0.7%	1.1%
各項目の平均	72.2%	21.0%	1.6%	5.3%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	幼児用の遊具を増やしてほしい。 テニス場:屋根を広げてほしい。
利用者の意見への対応	遊具10台の入れ替え及び2基の新設を自主財源で実施。 テニス場に6基のサイクルポートを設置。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の老朽化に伴う劣化及び不具合箇所の早期発見・修繕を行うとともに、整った公園環境や高レベルな機能を提供できるスポーツ施設を維持するため、適切な保守・点検や植栽管理を計画以上に実施することにより、来園者・施設利用者に安全で快適な環境を提供できたと考える。 地震時には点検マニュアルに基づく対応を行い、危険箇所への立ち入り制限や、県への報告により、速やかに利用再開することができた。	業務計画書どおりに日常点検、定期点検等が行われており、不具合箇所の早期発見に努め、適切な維持管理がされていた。
運営業務	多くの県民に親しまれる憩いの場として、また県内で最も充実した複合スポーツ施設としてその機能を十分に発揮できるよう取り組んだ。 震災による計画停電や一時避難所の開設にあたり、施設利用者への連絡や調整を行い、混乱を招くことなく対応できた。	各施設をはじめ公園全般にわたり来園者に不快感を与えないよう常に配慮した。また、東日本大震災時の一時避難所設置時において、施設利用者との調整を図りトラブルのないように運営を行った。
自主事業	業務計画書どおり実施した。	スポーツ振興を目的としたイベント等を積極的に実施し、施設の利用促進を図った。また、利用時間の拡大や無休営業による努力を行った。
利用状況	公園にふさわしいイベントの実施に取り組む多数の方々に来園いただいたと考える。これは、各種(利用時間の拡大、無休営業、親切・丁寧な接客、迅速な対応等)の取り組みを、職員が日々誠心誠意努力した成果と考える。	施設関連情報だけでなく、健康づくりやスポーツ関連情報など幅広い情報提供を行うなど、積極的な広報活動を行い、利用者の増加に努めた。
収支状況	震災の影響はあったが、親切・丁寧・迅速を第一に接客に取り組んだ結果、利用収入は事業計画を上回る収入額となった。支出についても、経費の節減に努めた。	昨年度と同様に、収支差額を施設整備や利用者の要望に答え遊具を設置するなど、公園利用者のために還元したことは評価できる。
利用者満足度	寄せられた意見を基に、広報の方法の変更や実施方法を検討しイベントの運営を行った。	各種スポーツに関する講座開設をし、利用者の促進に努めたことが、満足度に反映されている。
運営目標の達成状況	運営目標の指標 入園者数 目標値 1,775,000人 → 実績値 1,793,431人 有料施設利用者数 目標値 1,100,000人 → 実績値 1,028,238人 入園者数、有料施設利用者数ともに目標をおおむね達成している。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	園内は、清潔に保たれており、施設の安全管理や災害時の備えが適切に行われていた。 公園の主な目的でもあるスポーツ振興業務、スポーツ講習会開催業務も計画的に行われており、効率的な運営管理が行われた。 また、利用者の要望に答えるため、快適な空間を提供するために、指定管理者が遊具の設置や施設の改修などの提案を行い、実施したことは評価できる。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	施設、設備の保守管理や施設の運営管理に積極的に取り組み、体育施設や公園施設の利便性を低下させることなく、利用者の方々が快適に利用できるよう努めている。 また、スポーツ振興事業、自主事業に多くの方々に参加いただけるよう、各種スポーツ教室やイベントに取り組み、スポーツに親しむ機会を提供する。ただし、施設利用者の増加に伴い、自主事業の展開が難しくなっている。	

7. 管理体制(組織図)

